



三位一体の技術・体制で目指す「ゴムの総合商社」

「ゴム部品の配合、金型設計、製造技術」

# 株式会社タグチゴム

作・もものき

## 配合技術

個々の製品に最適な  
質のゴムを作るため  
ゴムの材料と添加剤を  
ベストな配合にする

弊社の特長は  
ゴムの製造に必要な  
三つの要素  
・配合  
・金型設計  
・製造  
これらを全て  
自社内で行い

## 金型設計技術

高い生産性を追求した  
金型の設計を  
自社内で行う

## 製造技術

様々な製品で  
積み重ねてきた  
高度・柔軟な  
製造ノウハウ

それらを  
高い水準で  
かけ合わせることで  
生産効率の向上と  
製品の高品質化を  
同時に実現している  
ことです

株式会社タグチゴムは  
一九四八年  
私の父である先代社長が  
「田口ゴム工業所」として  
起業

現在は家電や  
自動車部品など  
工業製品を中心に  
その他おもちゃの部品などを  
手掛けています

株式会社タグチゴム  
代表取締役社長  
たぐち かつや  
田口勝也氏

高い生産性と  
高品質の両立



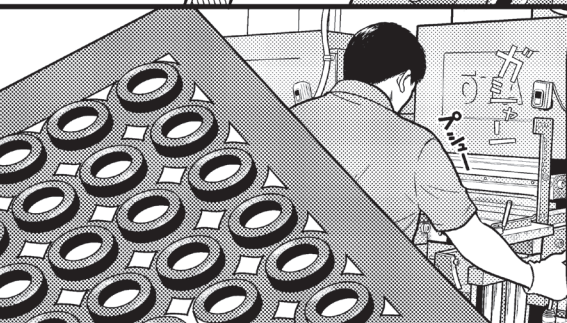




切ったあとも仕上げが必要

従来の製造法では金型から取り出した後手作業で一つ一つ切り離す必要がありました

例えばこれはおもちゃのタイヤの部品ですが



同時にゴム材料の配合を見直すことで

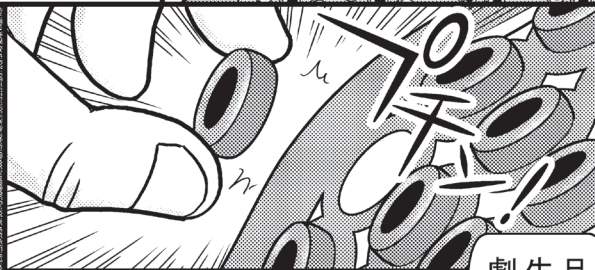
これを弊社では独自設計の金型を導入し

株式会社タグチゴム  
専務取締役  
(勝也氏の長男)  
たぐち とくあき  
田口徳明氏



また、こちらは電気のメーターのパッキンの部品ですが

株式会社タグチゴム  
営業部  
(勝也氏の三男)  
たぐち かつおみ  
田口勝臣氏



品質を損なうことなく生産効率の劇的な向上に成功しました

簡単・きれいに  
手でちぎることができ



最後の仕上げも  
必要ない

当時大ブームとなっていたこのおもちゃの部品の大量生産のニーズに  
応えることができた

一九八〇年代  
弊社の急成長の  
要因となったのです



御存知の通り屋外に設置してありゴムにとつては大変過酷な環境に晒されるものです

実際、従来の製品はあつという間に劣化してしまっていました

株式会社タグチゴム  
常務取締役  
(勝也氏の次男)  
たぐち いくお  
田口郁男氏



十年もつようなゴムを作れませんか

原料ゴムの配合  
そして添加する  
配合剤の選定に  
試行錯誤を重ね：

では、これを  
実際に十年使用して  
テストしますので  
お待ち下さい

そして十年後――

一見不可能とも思える  
要望でしたが

十年……

よし、  
これで大丈夫だ

取り出された製品は  
ヒビや劣化もなく  
ゴムの弾力を  
完全に保っていました

もちろん文句なしの  
合格・採用と  
なったのです

配合や金型設計を  
自社で妥協なく  
行うことは  
手間もコストも  
かかります

しかし、その結果  
生産効率が大幅に上がれば  
トータルではずっと安く  
作ることができます

試作も含めた  
小ロット・多品種のものは  
国内本社工場で製造する一方  
少品種・大量生産のものは  
マレーシアの工場で  
行っています

また、品質の面でも  
顧客の難しい  
ニーズにもきめ細かく  
応えることができます

弊社にとっても  
経験とノウハウが蓄積され  
さらなる技術向上に繋がり  
得られるものは  
非常に大きいのです

国内と海外それぞれの  
メリットを活かして  
最適な生産体制をとれる  
ことも弊社の強みの  
ひとつです





今度は中国に  
進出します！  
また一緒に  
来てください！



最初は  
ゾウさん

次に  
ライオンさんの  
所の材料を…

もう自分に必要な  
分は稼いだから  
今月はお休みダヨ

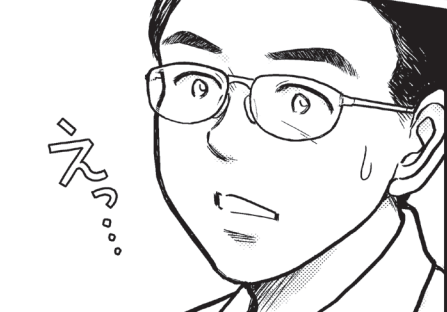
当初は英語もわからず  
外国人従業員の  
気質や文化の違いに  
翻弄され



タグチゴムさんも  
一緒に  
来て下さい！

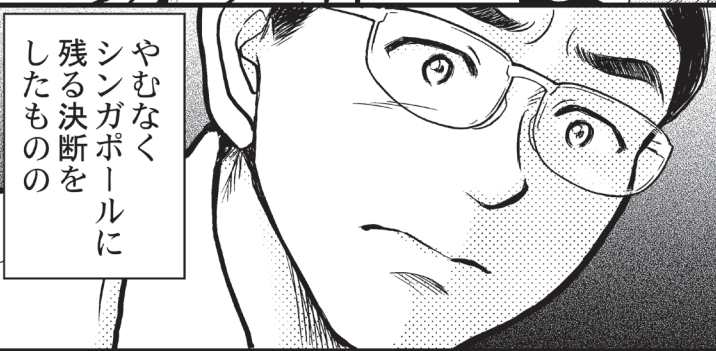
はい

海外進出のきっかけは  
一九八七年  
当時最大の顧客だった  
大手玩具メーカーが  
シンガポールに  
進出したことでした



どうか  
シンガポール工場を  
軌道に乗せたその時

しまった  
人種  
配置を間違えた



やむなく  
シンガポールに  
残る決断を  
したものの

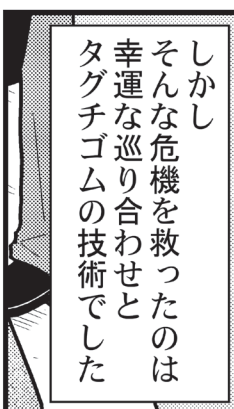
この上  
中国に進出できる  
体力は到底  
ありませんでした

当時は  
シンガポール工場の  
資金回収も  
まだできておらず

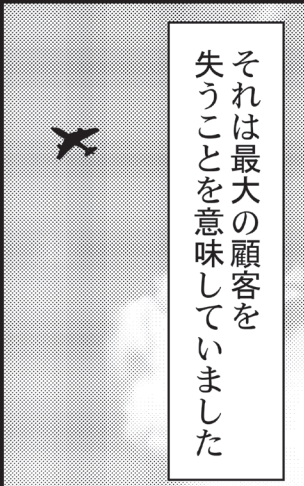


こっちで日本と同じ  
高い品質のゴムが  
作れる所は  
ないかなあ

ちようど同じ時期  
日本の家電メーカーが  
同地に大量に  
進出してきたのです



しかし  
そんな危機を救ったのは  
幸運な巡り合わせと  
タグチゴムの技術でした



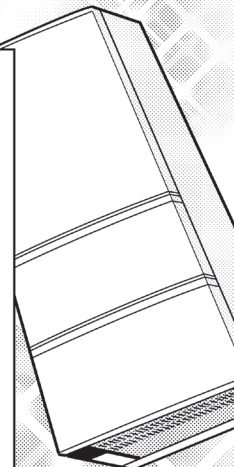
それは最大の顧客を  
失うことを意味していました



タグチゴムに是非！

培ってきた  
技術と品質の高さは  
家電メーカーにも  
認められ





タグチゴムは  
最大の危機を脱するとともに  
事業転換に成功したのです

その後 人件費の高騰に伴い  
事務所機能を残し  
工場をマレーシアに移転


隣のベンキ工場が  
爆発したーっ

燃え移るぞーっ

新たな土地で  
思わぬアクシデントに  
見舞われたりもしながら

スコールで  
鎮火した… 助かった…

さらに  
自動車部品や建材などの  
分野にも手を広げ  
実績と信頼を積み重ねて  
今日に至ります



現在は私達三人が  
日本・マレーシア・  
シンガポールの各拠点を  
ローテーションで  
担当しています

定期的話し合いの  
場を設けながら  
ポジションを  
入れ替える事により

経営の透明化  
そして自分の仕事や立場に  
慣れてしまうことなく  
緊張感と向上心を持って  
臨むことができます

兄弟同士でも  
考え方が対立する  
ことはあります

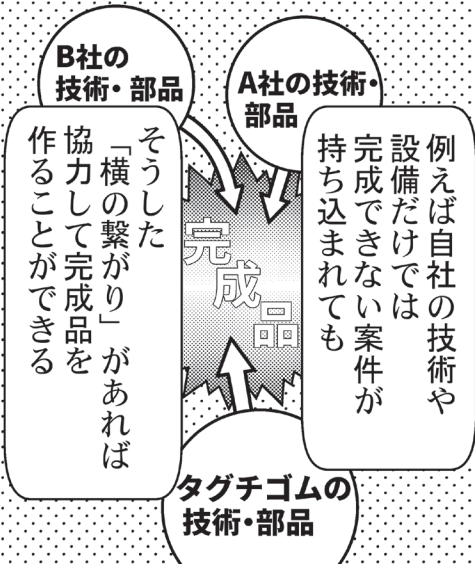
そんな時でも  
常に互いを尊重し  
しっかり話し合いで  
すり合わせてゆくよう  
心がけています

たとえ手法や  
道すじは違っても  
目指す所はひとつ

「会社をより良く  
してゆきたい」

また それを通じて  
業界・地域を  
盛り上げてゆきたい—  
という思いは  
変わらないのですから…





そうした「横の繋がり」があれば協力して完成品を作ることができる

例えば自社の技術や設備だけでは完成できない案件が持ち込まれても

その繋がりをこれからも大切にしたいと思っています

その中には工場の経営者もたくさんいる

私達兄弟三人は、この葛飾という地に育まれ成長してきました互いに共通の知人・友人も多く



ゴムのことなら何でも私達「タグチゴム」にお声がけ下さい!

配合・金型・製造の三位一体の技術と三人兄弟盤石の体制で顧客のニーズにお応えします

その金型を弊社で使うことができれば「製品」の継承ができる可能性がある

また後継者がおらず閉鎖せざるを得ない工場がある—そんな場合でも



自社の技術にくわえて他社との繋がりでどんなニーズにも応えられる—

そんな「ゴムの総合商社」のような存在になれば—そんなふうに思っています

